

参考2．油防除資機材一覧

油吸着マット

油吸着マットは水に浮かんだ油を吸着するための資材です。

一般的に 自重の10倍以上の油吸着力、 水に沈まない(比重が0.9程度)、 水分をほとんど吸わない、 燃焼しても有毒ガスを出さない 等の特徴があります。

油吸着マットの種類

素材 化学繊維 (ポリプロピレン)
天然素材 (綿、古紙、木等)

形状

シート型



長尺型油吸着マットを展張した内側にシート型油吸着マットを投入しています。

65cm または50cm 四方に裁断した吸着材の基本形ともいえるものですが、回収もれがあると二次汚染を引き起こすおそれがあるので、オイルフェンス等で囲まれた中で使用する等して全量回収が鉄則です。

長尺型(带状)

油の拡散防止や吸着回収に適しています。カッターで切ったり、マット同士を結ぶことにより必要な長さにして使うことができます。

ロール型

65cm×65m のものが一般によく使用されます。

Z(ジグザク)型

つづら折りに折り畳んでいるので風の影響を受けにくくなっています。



万国旗型



シート型を連続的につないだもので展張と回収が容易ですが風に吹かれると連結部から油が漏れるおそれがあります。

吹流し（ボンボン）型

極細タイプ

軽量で広い範囲の粘度の油に対応。隙間からの油漏れが少ないので流れのあるところでも使用できます。



幅広タイプ

高粘度の油、特にムース化した油に有効で大量の油回収ができます。



油回収ネット



油回収ネットは、4 mm 角のポリエチレン網に油吸着マットを詰めたもので、高粘度から低粘度の油の回収ができます。また、浮力が大きく大量の油を捕捉できます。

2 ノット程度の流れや曳航でも油を逃がしません。容積が小さく重量も軽いので取り扱いやすく、油回収後の焼却が簡単です。

オイルフェンス



固形式オイルフェンス



充気式オイルフェンス

オイルフェンスは一時的に油の拡散を防ぎ、回収するために使用されるもので、展張方法には誘導、包囲、待ち受け等があります。

展張上の注意

- 十分にアンカー（アンカーロープ、ブイを含む）を取り付ける
- まっすぐねじれないように展張する
- 荒天前に撤去する

オイルフェンスの種類

大きさ	湾内用	A 型	海面上 20 cm 以上、海面下 30 cm 以上
		B 型	海面上 30 cm 以上、海面下 40 cm 以上
	外洋用	C 型	海面上 45 cm、海面下 60 ~ 70 cm
		D 型	海面上 60 ~ 80 cm、海面下 80 ~ 90 cm
構造	固形式	浮体に発泡スチロールを使用、充気式に比べて容積が数倍になる。	
	充気式	運搬が容易だが破損すると浮力を失う。	
	ついたて式	固形式に比べて容積が小さいが風の影響を受けやすい。	

油回収枠



油混じりの水を枠内に汲み入れて、油膜を厚くして回収する器具です。汲み入れは柄杓、ポンプの他、前面に開口部を入れた回収枠の両端にオイルフェンスや油回収ネットをV字型に展帳し風潮流等を利用して導入する方法があります。

エンドレスロープ



防波堤入り口等を連絡して長尺型油吸着マット等を簡単に開閉したり張り替えたりするための器具です。(参考4参照)

シースーパー

吸着材、ゴミ等海上浮遊物を短時間にしかも広範囲にわたって回収する器具です。

